

鈴鹿市立郡山小学校令和5年度第5回学校運営協議会 報告

○日時 令和6年1月26日（金）19:00～20:30

○場所 郡山小学校コンピュータ室

1 あいさつ

委員長・学校長より挨拶

2 協議内容

（1）郡山小学校の取組について・・・教頭より2・3学期の取組についてスライドで報告

（2）学校関係者評価（別紙）について

【学力保障】

- ・児童アンケート「授業の内容がよく分かる（国・算）」の肯定的回答は約90%だが、残りの約10%の子たちをどうするかが重要。学校支援ボランティア等も活用し、教職員がつまづきのある児童への支援に当たる時間を確保できるとよい。
⇒分かりにくい子を「ほっておかない」ことが大切と考え取り組んでいる。
- ・児童アンケート「読書が好き」の肯定的回答が昨年度比-11%なのは残念。図書館の整備や読み聞かせボランティアの充実等引き続き「本の楽しさ」にふれる機会を確保していきたい。

【人権教育】

- ・成果と課題欄に「相手の立場に立って考え行動できる子は少ない」と記述されているが、「行動できる子」とは具体的にどういう行動ができる子のことを指すのか。
⇒いじめや差別を目撃した場面で、すぐに止めるための行動ができることは勿論、近くの友だちに「あれっておかしいよね」と伝えたり「先生に言った方がいいよね」と相談したりする等、今自分ができる行動をとる姿も含め、目の前のことをスルーしないことを指す。
- ・児童アンケート「いじめをやめるように言ったり誰かに伝えたりすることができる」の肯定的回答は77%。子どもたちの認識と先生方の認識にズレがあるのでは。
⇒教職員の願いと児童の認識に差があるのかもしれない。今後も引き続き、望ましい行動を教職員が積極的に評価し、相手の立場に立って考え行動できる子の育成に取り組みたい。

【生活指導】

- ・児童アンケート「学校が楽しい」の肯定的回答は88%だが、数字だけでは分からない部分がある。先生方の子どもたちへの関わりやSCの活用等は。
⇒各クラスで、日常的に様々な方法で子どもたちの様子を気に配っている。また、「いじめアンケート」実施後に教育相談を行っている。SCも来校時には各教室を観察し、子どもたちの姿からの気づきについて各担任と情報共有している。

【地域ぐるみの教育】

- ・ボランティア名簿への登録者について、現在実働のない方々への対応をどうするか。
- ・学校からのニーズを踏まえる必要がある。また、学校再編を見据え在り方を考える必要や地域

にある様々な意見に耳を傾ける必要もある。何かきっかけがあればボランティアに復帰する方もいるかもしれない。多くの人が学校に関われる可能性を残しておくべき。

- ・ 人数を把握する意味でアンケートを取り意思を確認してもいいのでは。
- ・ 学校HPの閲覧数はどのように把握しているのか。
⇒実数は分からない。保護者アンケートの回答から推測。HPをほとんど閲覧しないと回答した割合が 70～80%。通信等は保護者によく読まれているがタイムリーさに欠ける。そのため行事のたびにHPで写真等をUPしている。
- ・ 市でHPのフォームが統一されてから操作しづらくなったと感じる。例えば、HPを更新した際学校からのメール（配信メール）にリンクを貼ってもらうと閲覧はしやすくなる。
- ・ 学校からの配付物について、ペーパーレス化が可能なものはしてもらえるとありがたい。
- ・ 以前は懇談会のような機会先生方と保護者が話す機会があった。学校再編を見据えると、このような機会の重要度は今後増すのでは。

3. 報告事項

- ・ 卒業証書授与式のことや今後の主な予定について報告

《教育支援課より》

- ・ 学校関係者評価により、各委員から多くの意見をいただくことが、来年度の学校の取組改善につながる。今日スライドで学校から提案のあった取組内容や、「成果と課題」欄にあるキーワード等をもとに、たくさんの意見を挙げてほしい。
- ・ HPについてのご意見は担当課へ伝えるが、配信メールにリンクを貼る意見や保護者と教職員の懇談の機会についての意見等は、貴重な意見としてぜひ学校で検討してほしい。
- ・ ボランティアについて、今後も多くの方に携わっていただける方向で検討していただけるとよいのでは。

4. その他

- ・ 次回学校運営協議会・・・3月1日（金）を予定